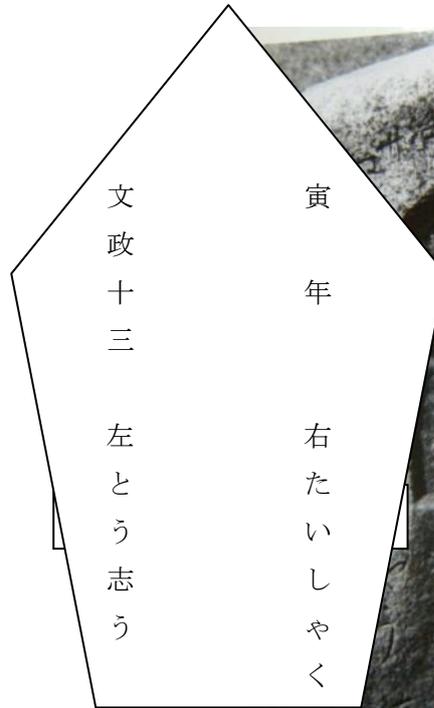


道標

- ① 牛飼いの村らしく、道が分かれる場所に据えられている馬頭さんに行き先が刻まれているものもある。背に荷を付け行き交う牛馬の安全を願う馬頭観音像の道標は、この地方ならではの風景である。森菅原宅前の道標の道しるべも何故か草むす路傍にあう。



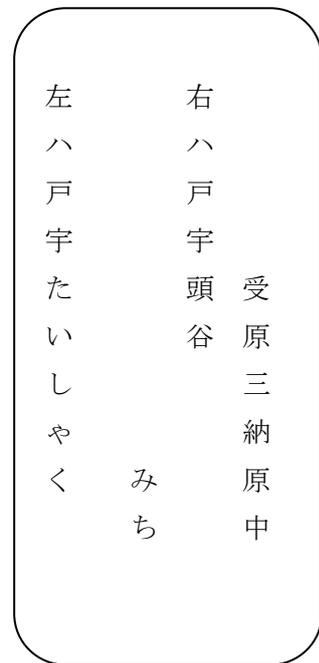
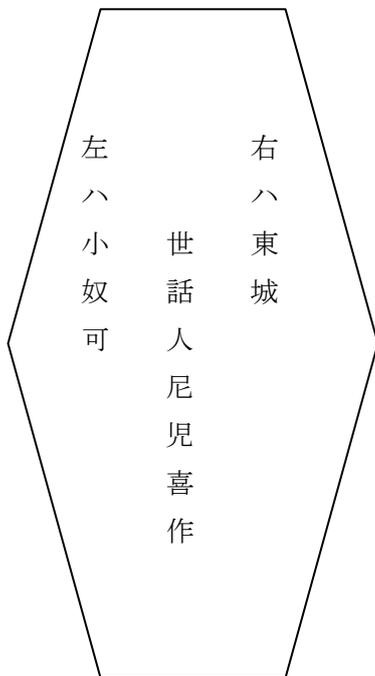
森・田

明治卅四年十二月

ふくやま



受原三納原の道標



徳雲寺への道標いろいろ



菅 沖野宅裏

二十一番
南無観世音菩薩
右者徳雲寺 左者雲州伯耆之道



徳雲寺道標 (和田宅裏)



八幡駅前

徳雲寺まで13丁とある。
(1300メートル)



徳雲寺道標

三草篠原線から徳雲寺へ通じる道路を開拓した際、道路寄付者が建立。平安の森への道路拡張の際に移設。